

薬剂散布報告書

-目次-

薬剂散布報告書	【2019年5月1日(水)】	3
薬剂散布報告書	【2019年2月8日(金)】	5
薬剂散布報告書	【2019年1月26日(土)】	6
薬剂散布報告書	【2019年1月4日(金)】	8
薬剂散布報告書	【2018年11月10日(土)】	10
薬剂散布報告書	【2018年10月14日(日)】	12
薬剂散布報告書	【2018年10月9日(火)】	15
薬剂散布報告書	【2018年9月21日(金)】	17
薬剂散布報告書	【2018年7月2日(月)】	20
薬剂散布報告書	【2018年6月27日(水)】	22
薬剂散布報告書	【2018年5月4日(金)】	24
薬剂散布報告書	【2018年4月27日(金)】	26
薬剂散布報告書	【2018年4月20日(金)】	28
薬剂散布報告書	【2018年4月13日(金)】	30
薬剂散布報告書	【2018年3月28日(水)】	32
薬剂散布報告書	【2018年2月23日(金)】	34
薬剂散布報告書	【2018年2月20日(火)】	36
薬剂散布報告書	【2018年2月16日(金)】	38
薬剂散布報告書	【2018年2月14日(水)】	40
薬剂散布報告書	【2018年1月26日(金)】	42
薬剂散布報告書	【2017年12月22日(金)】	44
薬剂散布報告書	【2017年12月6日(水)】	47
薬剂散布報告書	【2017年11月18日(土)】	49
薬剂散布報告書	【2017年11月16日(木)】	51
薬剂散布報告書	【2017年11月11日(土)】	53
薬剂散布報告書	【2017年11月2日(木)】	55
薬剂散布報告書	【2017年10月23日(月)】	57
薬剂散布報告書	【2017年10月16日(月)】	59
薬剂散布報告書	【2017年10月11日(水)】	62
薬剂散布報告書	【2017年10月2日(月)】	65
薬剂散布報告書	【2017年9月28日(木)】	67
薬剂散布報告書	【2017年8月10日(水)】	69

薬剂散布報告書	【2017年7月12日(水)】	71
薬剂散布報告書	【2017年7月5日(水)】	73
薬剂散布報告書	【2017年6月21日(水)】	75
薬剂散布報告書	【2017年6月16日(金)】	77
薬剂散布報告書	【2017年5月26日(金)】	79
薬剂散布報告書	【2017年4月12日(水)】	81
薬剂散布報告書	【2017年3月29日(水)】	84
薬剂散布報告書	【2017年3月11日(土)】	86
薬剂散布報告書	【2017年2月10日(金)】	88
薬剂散布報告書	【2017年2月3日(金)】	91
薬剂散布報告書	【2016年12月3日(土)】	94
薬剂散布報告書	【2016年12月9日(金)】	98
薬剂散布報告書	【2016年11月1日(金)】	100
薬剂散布報告書	【2016年11月2日(水)】	103

薬剤散布報告書 【 2019 年 5 月 1 日(水) 】

プロジェクトサマリー

作業日	作業時間	作業者
2019年5月1日(水)	9:00～13:00	坂本哲隆

薬剤散布作業の概要

1. 殺虫：コナジラミ

使用薬品

使用薬品名 (農林水産省登録第○号)	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (通常 200L)	使用回数 /総使用回数	使用時期 (残留回避)	マルハナバチ 影響日数
コルト顆粒水和剤 (第 22797 号)	アブラムシ類、コナジラミ類	4000	200L	3/3	収穫前日	3-7日

病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
コナジラミ	坂本	2019年4月26日(金)	三好さんに報告
薬剤散布実施	坂本	2019年5月1日(水)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G			①			①						
F						①						
E												
D												
C												
B												
A												

メモ

- 3ヶ月ぶりの薬剤散布となった。植物工場周辺に生えたカラスノエンドウで繁殖したと思われる有翅のアブラムシがまばらに見られる、
- 枯死した個体にもコナジラミが見られた。

薬剤散布報告書【2019年2月8日(金)】

プロジェクトサマリー

作業日	作業時間	作業者
2019年2月8日(金)	13:00~15:30	坂本哲隆

薬剤散布作業の概要

2. 除草

使用薬品

使用薬品名 (農林水産省登録第○号)	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (通常 200L)	使用回数 /総使用回数	使用時期 (残留回避)	マルハナバチ 影響日数
ラウンドアップマックスロード (第 21766 号)	雑草	100	5L	-		

病虫害発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
除草	坂本	2019年2月4日(月)	三好さんに報告
薬剤散布実施	坂本	2019年2月8日(金)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D												
C												
B												
A												

メモ

- 1レーン奥の雑草は手で抜くのが困難なほど大きく育ってしまっており、今回除草剤を使わせてもらった。12バスの雑草は佐藤さんに協力してもらい、大部分は撤去した。
- 廃液タンクとその周辺が汚いので、綺麗にしたい。

薬剤散布報告書【2019年1月26日(土)】

プロジェクトサマリー

作業日	作業時間	作業者
2019年1月26日(土)	15:00~17:00	坂本哲隆

薬剤散布作業の概要

3. 殺菌：灰色カビ病

使用薬品

使用薬品名 (農林水産省登録第○号)	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (通常 200L)	使用回数 /総使用回数	使用時期 (残留回避)	マルハナバチ 影響日数
アフェットフロアブル (第 22209 号)	灰色カビ病、菌核病、葉かび病、 うどんこ病、すすカビ病	2,000	100 L	2/3	収穫前日	2 日
展着剤アプローチ BI (第 15763 号)	-	10,000	100 L	-		

病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
灰色かび病	佐藤	2019年1月2日(水)	三好さんに報告
薬剤散布実施	坂本	2019年1月26日(土)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D												
C									1			
B												
A												

薬剤散布報告書【2019年1月4日(金)】

プロジェクトサマリー

作業日	作業時間	作業者
2019年1月4日(金)	15:00~17:00	坂本哲隆

薬剤散布作業の概要

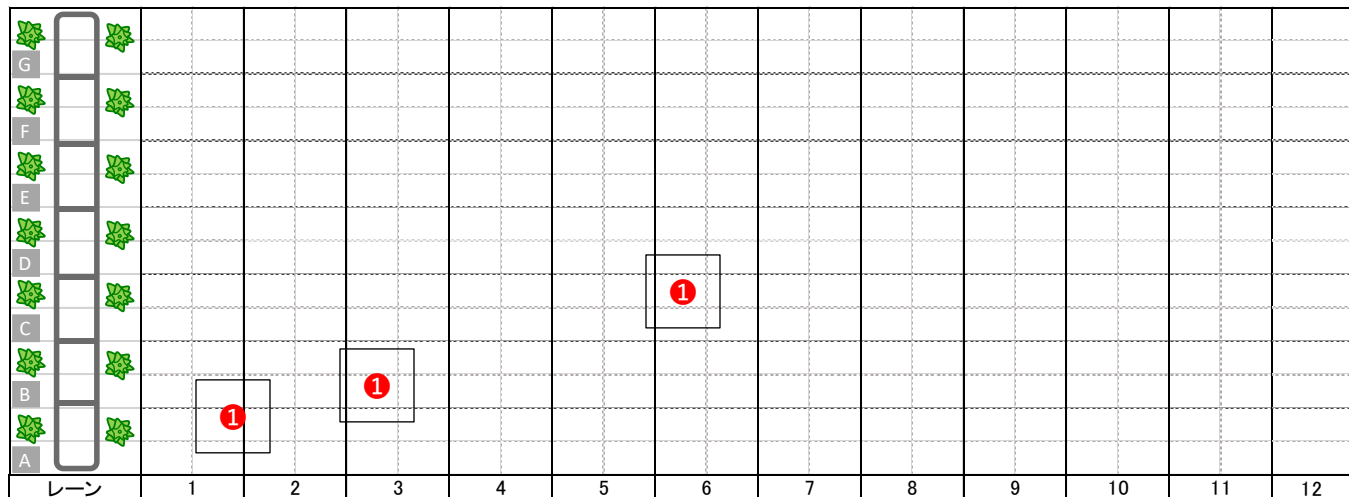
4. 殺虫：コナジラミ、ハモグリバエ

使用薬品

使用薬品名 (農林水産省登録第○号)	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (通常 200L)	使用回数 /総使用回数	使用時期 (残留回避)	マルハナバチ 影響日数
アファーム乳剤 (第 19842 号)	マメハモグリバエ, オオタバコガ, トマト サビダニ	2000	200L	2/5	収穫前日	2日
兼商モレスタン水和剤 (第 19723 号)	コナジラミ類, トマトサビダニ	1500~2000	200L	1/5	収穫 3 日前	3-5日

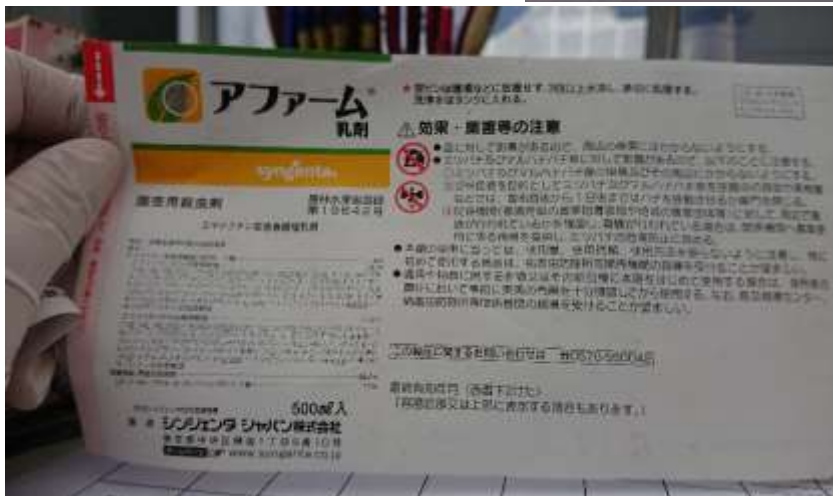
病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
コナジラミ (1, 2, 5 レーン), ハモグリバエ (3 レーン)	坂本	2019年1月2日(水)	三好さんに報告
薬剤散布実施	坂本	2019年1月4日(金)	—



- コナジラミの数は現時点では少ない（発見時数匹）
- 下層の葉に糞のようなものがついてることがあり、もしかしたら他の害虫もいるのかもしれない。

参考画像



薬剤散布報告書【2018年11月10日(土)】

プロジェクトサマリー

作業日	作業時間	作業者
2018年11月10日(土)	10:00~12:00	井智大

薬剤散布作業の概要

5. 殺虫:コナジラミ
6. 殺菌:うどんこ病、灰色カビ病等の予防

使用薬品

使用薬品名 (農林水産省登録第〇号)	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (通常 200L)	使用回数 /総使用回数	使用時期 (残留回避)	マルハナバチ 影響日数
アフェットフロアブル (第 22209 号)	うどんこ病、灰色カビ病、葉カビ病、 菌核病、すすかび病	2000	200L	1/3	収穫前日	1日
コルト顆粒水和剤 (第 22797 号)	アブラムシ類、コナジラミ類	4000	200L	2/3	収穫前日	3-7日

毛病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	平田	2018年10月14日(日)	—
コナジラミ	坂本	2018年11月6日(火)	三好さんに報告
薬剤散布実施	井	2018年11月10日(土)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E						①						
D												
C												
B												
A												

- 散布中にプレーカーが落ちることがある。
- フィルムで仕切られたので薬剤散布の効率が悪くなり病害虫が増えそう

参考画像



薬剤散布報告書【2018年10月14日(日)】

プロジェクトサマリー

作業日	作業時間	作業者
2018年10月14日(日)	11:00~12:00	平田拓也

薬剤散布作業の概要

- 7. 殺虫：オオタバコガ、トマトサビダニ、ハモグリバエ
- 8. 殺虫：アブラムシ類、コナジラミ類

使用薬品

使用薬品名 (農林水産省登録第○号)	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (通常 200L)	使用回数 /総使用回数	使用時期 (残留回避)	マルハナバチ 影響日数
アファーム乳剤 (第 19842 号)	ハモグリバエ、オオタバコガ、トマトサビダニ	2000	200L	1/5	収穫前日	2日
コルト顆粒水和剤 (第 22797 号)	アブラムシ類、コナジラミ類	4000	200L	1/3	収穫前日	3-7日
展着剤アプローチ BI (第 15763 号)		1000	200L			

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	坂本	2018年10月9日(火)	—
ハモグリバエ、サビダニ、アブラムシ	井	2018年10月11日(木)	三好さんに報告
薬剤散布実施	平田	2018年10月14日(日)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D												
C												
B												
A												

- 前回の葉散から逃れていた茎や果実内部にいた害虫を対象に散布した。
- 側枝の効果で植物体の密度が高いため以前と比較して十分に散布できてないと思われる。
- ホースが破裂したが、先端を切断して金具を付け直せば修復可能と思われる。修復予定。

薬剤散布報告書【2018年10月9日(火)】

プロジェクトサマリー

作業日	作業時間	作業者
2018年10月9日(火)	16:00~18:00	坂本哲隆

薬剤散布作業の概要

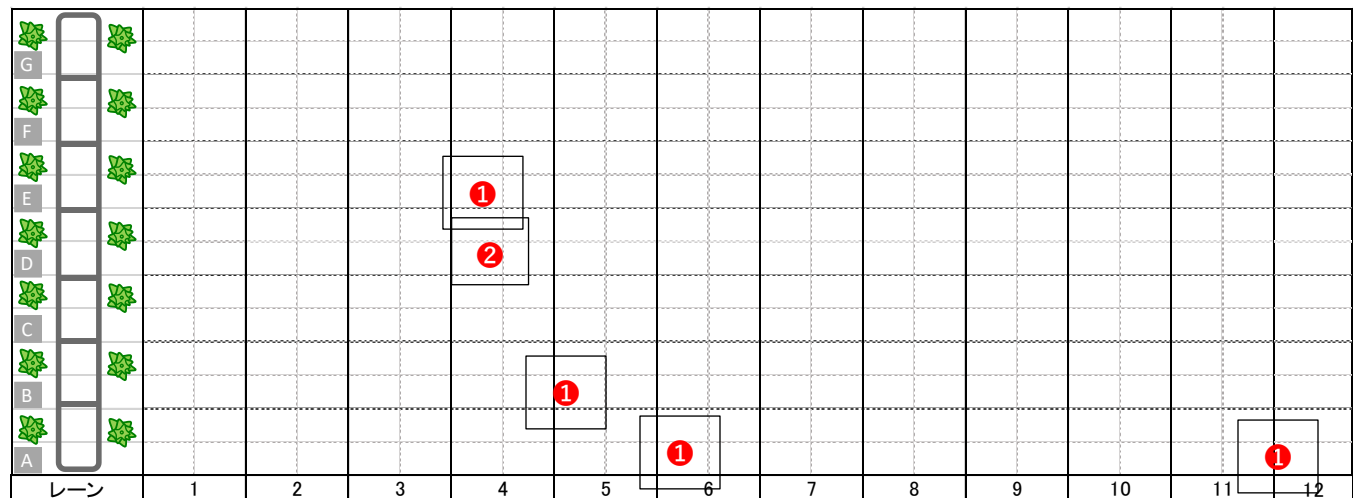
- 9. 殺虫：オオタバコガ、トマトサビダニ
- 10. 殺菌：葉かび病

使用薬品

使用薬品名 (農林水産省登録第○号)	通用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (通常 200L)	使用回数 /総使用回数	使用時期 (残留回避)	マルハナバチ 影響日数
コテツ®フロアブル クロルフェナピル水和剤 (第 19186 号)	コナジラミ類 トマトサビダニ	2000	200L	1/3	収穫前日	9日
トップジン®M水和剤 チオファネートメチル水和剤 (第 11573 号)	菌核病 灰色かび病 葉かび病	1500~2000	200L	1/5	収穫前日	0日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	坂本	2018年10月9日(火)	—
オオタバコガ、葉かび病	平田	2018年10月7日(日)	三好さんに報告
薬剤散布実施	坂本	2018年10月9日(火)	—



メモ

- 12レーン奥に生えていた雑草は井智大(先輩)が撤去してくださった。
- オオタバコガの幼虫がかなり多く見られる。トマトの茎や果実の中にまで食入したのも散布後の管理作業中に5頭以上発見した。散布の効果があったのか、翌日には体色が黒ずみ弱った個体や死骸も複数みられたが、茎や果実内部にいた個体は弱っていないように見えた。

参考画像



薬剤散布報告書【2018年9月21日(金)】

プロジェクトサマリー

作業日	作業時間	作業者
2018年9月21日(金)	11:00~12:00	井智大

薬剤散布作業の概要

1. 殺虫、殺菌

使用薬品

使用薬品名 (農林水産省登録第〇号)	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (通常 200L)	使用回数 /総使用回数	使用時期 (残留回避)	マルハナバチ 影響日数
ベストガード水溶剤 (第 19102 号)	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	2000	200L	1/3	収穫前日	10
ジマンダイセン水和剤 (第 10576 号)	えき病 葉かび病 りんもん	800	200L	1/2	収穫前日	0

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	井	2018年9月21日(金)	—
果実形成前の防除	井	2018年9月20日(木)	三好さんに報告
薬剤散布実施	井	2018年9月21日(金)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D												
C												
B												
A												



- 果実が形成される前に防除として行った

参考画像



【適用病害虫と使用方法】

作物名	適用病害虫名	稀释倍数 (倍)	107-5 の 100倍 稀释は	噴霧 回数	本剤 100g入	特注用回数*
柿	キキアザミコウマ キキハモグリバエ	1,000	100-300	前日	4回	★6
	アブラムシ類	1,000-2,000		14日		
なし	カメムシ類 アザミコウマ		200-300	3回	3回	
	コナジラミ類 コナダラミ類	1,000		3回		
かんきつ	アザミコウマ アブラムシ類			3回		
	コナジラミ類 コナダラミ類	1,000-2,000	100-100	4回	3回	
茶	アザミコウマ オモグリバエ	1,000	100-100	4回	3回	
	コナジラミ類 コナダラミ類	1,000	100-300	4回	4回	
たばこ	アブラムシ類	1,000-2,000	100-100	10日	1回	1回
	アザミコウマ コナジラミ類	2,000	100-300	14日	3回	3回

※1: 散布
★6: 定植時までの処理は1回、株元処理及び水溶剤用は合計3回
★7: 「適用場所」: 水田
★8: 「適用場所」: ガラス葺等の施設

薬剤散布報告書 【 2018 年 7 月 2 日(月) 】

プロジェクトサマリー

作業日	作業時間	作業者
2018年7月2日(月)	12:00~ 15:00	井智大

薬剤散布作業の概要

11. 殺虫 : コナジラミ

使用薬品

使用薬品名 (農林水産省登録第○号)	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (通常 200L)	使用回数 /総使用回数	使用時期 (残留回避)	マルハナバチ 影響日数
ベストガード水和剤 (第 19102 号)	アブラムシ類 コナジラミ類 アザミウマ類	2000	200L	2/3	収穫前日	10

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	坂本	2018年6月27日(水)	—
コナジラミ	玉君	2018年7月2日(月)	三好さんに報告
薬剤散布実施	井	2018年7月2日(月)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F			1									
E												
D												
C												
B												
A												

- 1室にコナジラミが発生した。
- ポンプのホースを吸う方しかタンクに入れておらず散布液をだだ漏れにしてしまった。

参考画像



【適用病害虫と使用方法】

作物名	適用病害虫名	薬剤投与量 (g)	10アール 当たり 散布量 (L)	散布 時期	散布回数*	
					本剤	コナジラミ
稲	ネキアザミウマ ネギバモグリバエ	1,000	100~ 200	前期		4回(★6)
トウモロコシ	アブラムシ類	1,000~ 2,000		14日		
大豆	カメムシ類 アブラムシ類		200~ 700	30日	3回	3回
大豆	アブラムシ類 コナジラミ類	1,000				
かんきつ	ミカンアザミウマ アブラムシ類			7日		
茶	チャノカイロアザミウマ チャノダヒメコブイ	1,000~ 2,000	200~400	100% 7日	2回	3回
適用ベテ (毎年1回)	ナメタリバエ	2,000		7日		
大豆 (10アール 当たり 散布量)	コナジラミ類					
大豆	コナジラミ類 アブラムシ類	1,000	100~ 300	発生 30日	4回	4回
ばら	コナジラミ類 ネギバモグリバエ					
ゆり		1,000~ 2,000				
たばこ	アブラムシ類		100~100	10日	1回	1回
たばこ (10アール 当たり 散布量)		2,000	100~300	14日	3回	3回

※10アール：畝布 ★6：定植時までの処理は1回、株元処理及び水溶剤散布は合計3回
 ★7：「適用場所」：水田
 ★8：「適用場所」：ガラス葉等の施設

薬剤散布報告書【2018年6月27日(水)】

プロジェクトサマリー

作業日	作業時間	作業者
2018年6月27日(水)	12:00~15:00	坂本哲隆

薬剤散布作業の概要

12. 殺菌：うどんこ病

使用薬品

使用薬品名 (農林水産省登録第〇号)	適用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (通常 200L)	使用回数 /総使用回数	使用時期 (残留回避)	マルハナバチ 影響日数
ハーモメイト水和剤 (第 18787 号)	灰色かび病、うどんこ病	800	200L	2/4	収穫 2 日前	-

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	坂本	2018年6月27日(水)	—
うどんこ病	複数者	2018年6月26日(火)	三好さんに報告
薬剤散布実施	坂本	2018年6月27日(水)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G							①					
F												
E												
D												
C												
B												
A												

メモ

- 7バス奥でうどんこ病が発生した。



薬剤散布報告書 【 2018 年 5 月 4 日(金) 】

プロジェクトサマリー

作業日	作業時間	作業者
2018 年 5 月 4 日(金)	11:00~ 13:00	坂本哲隆

薬剤散布作業の概要

- 13. 殺虫 : コナジラミ
- 14. 除草 : 南側カーテン奥

使用薬品

使用薬品名 (農林水産省登録第○号)	通用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (通常 200L)	使用回数 /総使用回数	使用時期 (残留回避)	マルハナバチ 影響日数
コルト®顆粒水和剤 (第 22797 号)	コナジラミ類、トマトサビダニ	4000	200L	1/3	収穫前日	3~7 日
ラウンドアップマックスロード (第 21766 号)	雑草	50	5L	-	-	-

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	坂本	2018 年 5 月 4 日(金)	—
コナジラミ	複数者	2018 年 5 月 1 日(火)	三好さんに報告
薬剤散布実施	坂本	2018 年 5 月 4 日(金)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G		②										
F				①								
E												
D												
C												
B												
A												

- カーテンと壁の間の雑草は薬剤散布前にほとんど撤去した。
- コナジラミがカーテンと壁の間の雑草が生えていた場所だけでなく、4レーンの仕切り側の個体などにも大量のコナジラミがみられた。

参考画像



薬剤散布報告書 【 2018 年 4 月 27 日(金) 】

プロジェクトサマリー

作業日	作業時間	作業者
2018 年 4 月 27 日(金)	16:00~ 17:30	平田拓也

薬剤散布作業の概要

- 15. 殺虫 : コナジラミ
- 16. 除草 : 南側カーテン奥

使用薬品

使用薬品名 (農林水産省登録第○号)	通用害虫名	希釈倍数 (倍)	使用液量 (通常 200L)	使用回数 /総使用回数	使用時期 (残留回避)	マルハナバチ 影響日数
ベストガード水溶剤 (第 19102 号)	コナジラミ類、トマトサビダニ	2000	200L	1/2	収穫前日	1 日
ラウンドアップマックスロード (第 21766 号)	雑草	100	5L	-	-	-

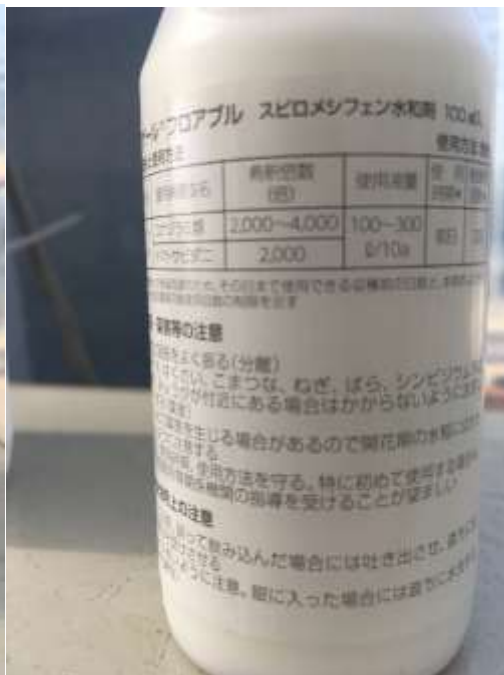
メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	平田	2018 年 4 月 20 日(金)	—
コナジラミ	複数者	2018 年 4 月 26 日(木)	三好さんに報告
薬剤散布実施	平田	2018 年 4 月 27 日(金)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G		②										
F				①								
E												
D												
C												
B												
A												

- コナジラミの寄生先が前回の水槽から南側の雑草へと移ったと考えられ、雑草を振ると大量のコナジラミが飛散した。
- 撤去しにくい場所にある雑草に対して除草剤を使用し、枯らした後に掃除する予定。
- 雑草は今作始まりから何度も同じ場所で発生しており、定植前の除草剤が甘かった事があり得る。次作はカーテンと壁の間の撒きにくい所も注意すべし。

参考画像



薬剤散布報告書【2018年4月20日(金)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2018年4月20日(金)	10:00~12:00	平田拓也

薬剤散布作業の概要

殺菌

1. コナジラミ

使用した薬品

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
ベストガード水溶剤 (第19102号)	殺虫	1000	1/3	コナジラミ類, アブラムシ類, アザミウマ類	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	井	2018年4月13日(金)	—
コナジラミ	加納	2018年4月19日(木)	三好さんに報告
薬剤散布実施	平田	2018年4月20日(金)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D												
C												
B												
A	①											

- 「薬剤散布報告書」も増えてきたため、リンク付き目次を追加した。「参考資料→目次の更新→目次を全て更新する」で自動追加。Home キーで目次戻り
- 今回使用したベストガードはマルハナバチ影響日数が 10 日以上と表記されているが、2 日おいた月曜日に設置しなおしても問題ないとのこと。
- 今回の発生源はスラブ保管場所となっていた水入れ箱(参考画像参照)→外に撤去済み。
- 南側のカーテンの隙間に生えている雑草(参考画像参照)はカーテンが地面に釘打ちされているため撤去が難しいため、対処が必要。
- 10~12 時にかけて散布を行ったが室温は 22℃程度。これからの時期は暑いので比較的気温の低く、屋間に薬剤を乾かすことのできる朝の散布がよい。

参考画像



薬剤散布報告書 【 2018 年 4 月 13 日(金) 】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2018 年 4 月 13 日(金)	15:00~ 16:30	井智大

薬剤散布作業の概要

殺菌








- ハボグリバエ、コナジラミ対策（1パスの奥に発生）

使用した薬品

使用した薬品名 (農林水産省登録第〇号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
モレスタン水和剤 (第 19723 号)	殺虫	2000	2/5	コナジラミ類, トマトサビダニ	収穫前日
アフーム乳剤 (第 19842 号)	殺虫	2000	1/5	マメハモグリバエ, オオタバコガ, トマトサビダニ	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

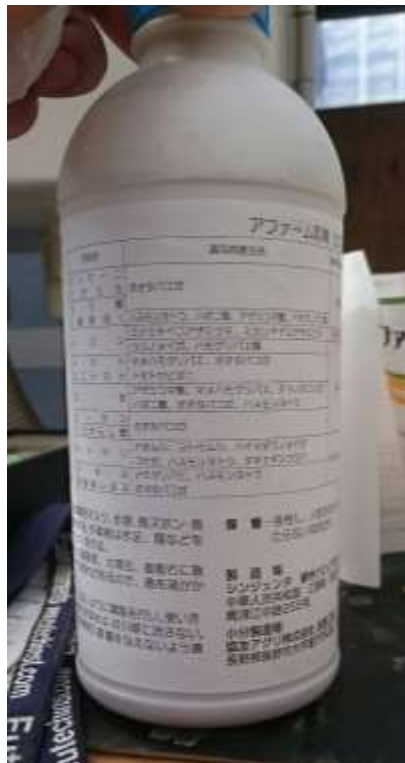
報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	平田	2018 年 4 月 13 日(金)	—
コナジラミ, ハモグリバエ	小元	2018 年 4 月 11 日(水)	三好さんに報告
薬剤散布実施	井	2018 年 4 月 13 日(金)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D												
C												
B												
A												

メモ

- 新たに3回生の坂本君が薬剤散布係に参加してくれることになり、レクチャーをした。
- 散布するときのホースは最初から伸ばしておくと、ねじれが少なく断然スムーズに行いやすい。

参考画像



薬剤散布報告書【2018年3月28日(水)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2018年3月28日(水)	15:30~ 17:00	平田拓也

薬剤散布作業の概要

殺菌

- コナジラミ対策（5レーンの隔離フィルター周辺に発生）

使用した薬品

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
アプロード水和剤 (第15677号)	殺虫	2000	1/3	オンシツコナジラミ, タバココナジラミ	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	井	2018年3月23日(金)	—
コナジラミ	加納	2018年3月28日(水)	三好さんに報告
薬剤散布実施	平田	2018年3月28日(水)	—

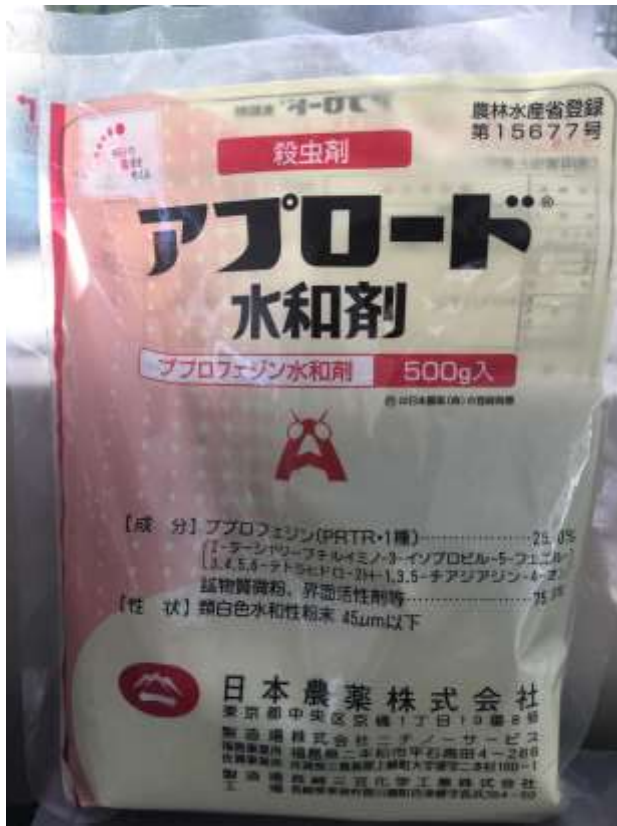
レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D					①							
C												
B												
A												

メモ

- 毎度毎度、隔離フィルター周辺にコナジラミが出ており溜息も出たが、実験に必要な部屋分けであるので相変わらずホリバー等で対策するしかない。

- チャンバーの上げ下げもストレスでしかない。複数のクリップでのフィルム固定や、一面のみの開閉しかできないタイプなどとても使い勝手が悪い。前面後面のチャック式やマジックテープ式にしてほしい。なにかしらの理由があるのかもしれない。ミーティングで聞いてみようと思う。
- 狙い目である生長点付近、なるべく高いところに農薬がかかるように全力で腕を伸ばして撒いた。(しかし隔離フィルターには及ばない)
- 薬剤散布時に隔離フィルターを除ける話も持ち掛けたが、植物が育っている以上取り外しても再取付が難のため却下。
- とにかく室温が高い。細霧冷房(冷房なのか?)もかかっており、蒸し暑く体感としては30℃超ぐらい(16時)。これからの薬剤散布時には飲料水が必須(自腹)
- 今度、薬剤散布の流れを動画に収めようと思う。これで誰でも薬剤散布ができます。安心。
- 先輩方の卒業に伴い、現在の薬剤散布係改め IPM 係は平田と井となります。卒業おめでとうございました。

参考画像



薬剤散布報告書【2018年2月23日(金)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2018年2月23日(金)	10:30~ 12:30	井智大

薬剤散布作業の概要

殺菌

4. コナジラミ対策（1レーンのパプリカに発生）

使用した薬品

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
マツチ乳剤 (第20016号)	殺虫	2000	5/4	うどんこ病, 灰色かび病, 菌核病, 葉かび病, すず かび病	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	平田	2018年2月20日(火)	—
コナジラミ	坂口	2018年2月22日(木)	三好さんに報告
薬剤散布実施	井	2018年2月23日(金)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G	①											
F												
E												
D												
C												
B												
A												

メモ

- コナジラミに対する薬剤散布となった。

- 散布中に高圧ノズルの先の方が緩まって、霧状にならないということが起きたため開始する前にしっかりと確認をしておいた方が良い。
- マッチ乳剤の総使用回数が 5/4 回を超えているが、最初の 1 回目の使用は植物が入る前の施設の消毒で用いたものだったため問題はない。
- 手袋の中を洗浄した。

参考画像



マッチ乳剤



薬剤散布報告書【2018年2月20日(火)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2018年2月20日(火)	10:00~ 12:00	平田拓也

薬剤散布作業の概要

殺菌

- うどんこ病対策（全体的に点々と発生）

使用した薬品

使用した薬品名 (農林水産省登録第〇号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
アフェット フロアブル (第 22209 号)	殺菌	2000	1/3	うどんこ病,灰色かび病,菌核病,葉かび病,すす かび病	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	井	2018年2月16日(金)	—
うどんこ病	平田	2018年2月19日(月)	三好さんに報告
薬剤散布実施	平田	2018年2月20日(火)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												①
F												
E												
D												
C												
B												
A												

メモ

- 先週に引き続きうどんこ病に対する薬剤散布となった。

- 生殖生長に傾けるために日較差をつけている(昼間の温度を高く設定)ことで乾燥が原因になっている可能性もある。→「2/21~細霧冷房を使用」
- スラブ下のたまった落ち葉、フィルム間の雑草が原因になっている可能性もある。「2/20に有志5人で掃除。目につく落ち葉雑草はなくなった」
- 実験のために使用している隔離フィルターがあるため、どうしても農薬を全体に完璧にかけることは不可能で先週散布しきれなかったところが発生源の可能性。
- 先輩方の卒論、院論、3回生の就活が活発であるため、一番人員が不足している時期。作業が雑になりがちだが、頑張りどころ。

参考画像



薬剤散布報告書 【2018年2月16日(金)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2018年2月16日(金)	10:00~ 11:00	井智大

薬剤散布作業の概要

殺中

- サビダニ対策 (8レーンの中央辺りの1個体にサビダニを発見)

使用した薬品

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
クリアザール フロアブル (第22093号)	殺虫	2000	1/2	サビダニ	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	平田	2018年2月14日(水)	—
サビダニ	坂口	2018年2月13日(火)	三好さんに報告
薬剤散布実施	井	2018年2月16日(金)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E								①				
D												
C												
B												
A												

メモ

- 2/13(火)にサビダニ被害発見、13日(火)に被害葉・果実を撤去、16日(金)収穫後に薬剤散布

- 工場内の掃除が行き届いておらず、雑草や通路の汚れへの対処が課題になる。
- 今回は2室と9レーンのみの散布になった。

参考画像



(サビダニ)

薬剤散布報告書【2018年2月14日(水)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2018年2月14日(水)	10:00~ 11:00	平田拓也

薬剤散布作業の概要

殺菌

- うどんこ病対策（1,2パス南側を中心にうどんこ病が伝染）

使用した薬品

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
パンチョ TF 顆粒水和剤 (第 21117 号)	殺菌	2000	1/2	うどんこ病	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	井	2018年1月26日(金)	—
うどんこ病	平田	2018年2月13日(火)	三好さんに報告
薬剤散布実施	平田	2018年2月14日(水)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G	①											
F												
E												
D												
C												
B												
A												

メモ

- 2/11(日)にうどんこ病被害発見、13日(火)に被害箇所を葉かき、14日(水)収穫後に薬剤散布

- 植物工場 B ではうどんこ病は発症しておらず、A ならではの要因があるのではないかと考えられた。
- 細霧冷房の使用で湿度を上げることで対処が有効であると思われる。(温度の下がりすぎに注意が必要になる)
- 1~3 月中は卒論・就活等で人員不足があり、工場内の掃除が行き届いておらず、雑草や通路の汚れへの対処が課題になる。
- 現に雑草が原因とみられるサビダニが発見された。今回は管理作業とのスケジュール都合もあり対処には至れなかった。(被書箇所は撤去済)
- 散布ホースは使用前に全て引き延ばした後に棒を取り付けると作業がスムーズになる。(綺麗に片づけても絡まりがちなため)
- 次回ミーティングで工場内掃除案(例として比較的重たい給液チェックの際に 1 人 1 パスを順に掃除するなど)を提案しようと思う。

参考画像



(左：うどんこ病)



(右:サビダニ)

薬剤散布報告書【2018年1月26日(金)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2018年1月26日(金)	12:00~ 13:00	井智大

薬剤散布作業の概要

殺菌

8. うどんこ病対策（1バスの中央辺りの個体が罹病していたため）

使用した薬品

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
ハーモイト 水溶剤 (第18787号)	殺菌	1000	1/4	灰色かび病、うどんこ病、さび病	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	平田	2017年12月22日(金)	—
うどんこ病(植)	福田	2018年1月22日(月)	—
うどんこ病	平田	2018年1月24日(水)	三好さんに報告
薬剤散布実施	井	2018年1月26日(金)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E		①										
D												
C												
B												
A												

メモ

- 今回はハモグリバエの被害もあったが大きいものではなかったため、うどんこ病だけの薬剤散布となった。

- 初めての薬剤散布だったため、準備段階で福田さん、平田君に手を貸して頂いた。
- 学生の実験の折り合いで今回は、1~4パス9~12パスのみの散布となった。
- 薬剤を散布するベース配分が難しいことがわかった。
- ホースにねじれが起きてしまっており散布を中断しなければいけない場面が多々あった。
- 技術力不足を実感した。

参考画像



薬剤散布報告書【2017年12月22日(金)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年12月22日(金)	15:00~ 16:30	平田拓也

薬剤散布作業の概要

殺虫

- ハモグリバエ対策（植物工場 A 全体から大量に発見されたため※特に廃液タンク周辺）

使用した薬品

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
ダコニール 1000 (第 16824 号)	殺菌	1000	1/4	疫病、輪紋病、葉かび病、炭疽病、灰色かび病、すすかび病、うどんこ病	収穫前日
マッチ乳剤 (第 20016 号)	殺虫	1000	4/4	ハモグリバエ類	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	宮崎	2017年12月1日(金)	—
ハモグリバエ(植物工場 A 全体)	福田	2017年12月15日(金)	三好さんに報告
薬剤散布実施	平田	2017年12月22日(金)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G					①							
F												
E												
D												
C												
B												
A												

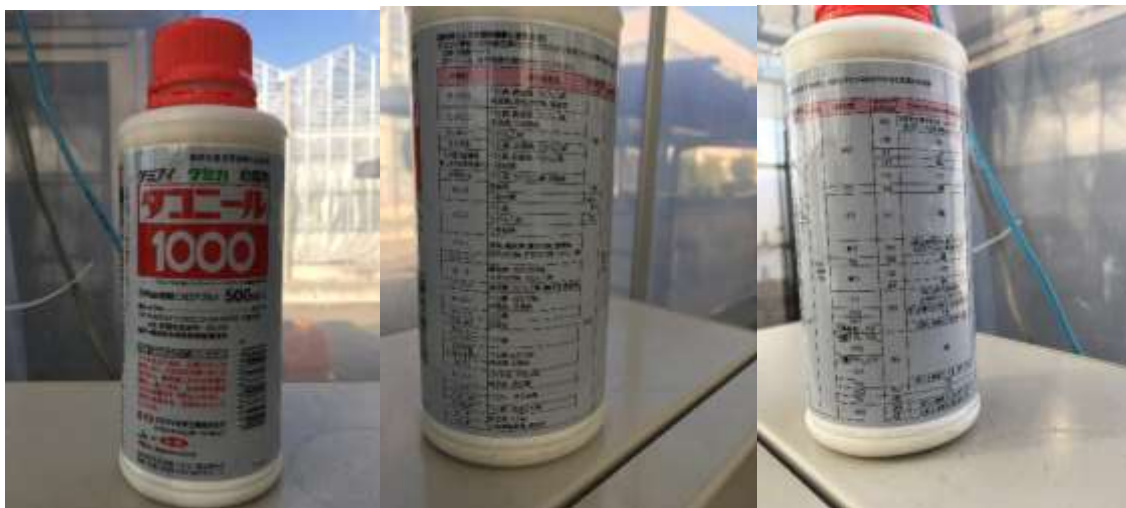
メモ

- ハエは以前から確認されていたが、薬剤散布により蜂を一時的に避難させることで生殖成長に影響が出ると考えなるべく葉散を控えてきた。
- 今月から作業時にハメグリバエの幼虫の痕跡を発見した場合は積極的に撤去するよう呼びかけている。
- 今回の葉散はあまりにもハエが多いことに対する対処と定期的な散布にあたる。
- 発生しているハエには特に害はなく、養液に魅かれて集まるものであるらしい。
- 以前増設したホリバーを確認すると、スラブ周辺ホリバーにはビッシリとハエが、成長点付近のホリバーは比較的綺麗だった。
- 葉散のホース接続部がすっぽ抜けるというハプニングもあったのでネジが緩んでないか確認するようにしたい。(修理済)
- 使用中ホースが絡まることがあるので、8の字巻で徹底したい。
- なお今回は新メンバーの井君に作業を見学してもらった。(報告書の名簿に追加済)

参考画像



↑ (マッチ乳剤:20016 号)



↑ (ダニール 1000:16824 号)



↑ハモグリバエ跡



↑(左:接続部崩壊/真中:修理済/右:k 綺麗な8の字巻)

薬剤散布報告書 【2017年12月6日(水)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年12月1日(金)	16:30~ 18:00	宮崎祐輔

薬剤散布作業の概要

殺虫

10. コナジラミ対策（7レーンで発見されたため）

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病虫害名	使用可能時期 (残留回避のため)
コルト 顆粒水和剤 (第 22797 号)	殺虫	4000	1/3	アブラムシ類、コナジラミ類	収穫前日

メモ病虫害発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	福田	2017年11月17日(金)	—
コナジラミ(7レーン)	加納	2017年11月25日(土)	三好さんに報告
薬剤散布実施	宮崎	2017年12月1日(金)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G							①					
F												
E												
D												
C												
B												
A												

メモ

- 2週間ぶりに薬剤散布を実施した

- 今回の薬剤散布は、修士 2 回生の宮崎さんに実施していただいた
- また、薬剤散布報告書のアップが遅くなってしまった、次回から現 IPM 系の誰かが気づいて報告書をまとめることを義務付けたい

参考画像



アプロード水和剤(第 22797 号)



7レーンで発見されたコナジラミ

薬剤散布報告書【2017年11月18日(土)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年11月17日(金)	16:00~ 17:30	福田健司

薬剤散布作業の概要

殺虫

11. コナジラミ対策 (4,5パスの隔離シート付近で発見されたため)

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
アプロード水和剤 (第15677号)	殺虫	2000	1/3	オンシツコナジラミ幼虫、タバココナジラミ類幼虫	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	福田	2017年11月15日(水)	—
コナジラミ(4,5パス付近)	小本	2017年11月16日(木)	三好さんに報告
薬剤散布実施	福田	2017年11月17日(金)	—

G F E D C B A	レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
					①	②									

メモ

- 今週2回目の薬剤散布となった

- そのため、ハチをハウス内に入れることができなかったため 11/17(金)の収穫後にトマトーン(第 11762 号)を柱頭に吹きかける作業を行った
- 本日は、区分けフィルムを中心に薬剤散布を実施した
- 薬剤散布の実施頻度が高くなっているため、栽培管理作業の精度を上げ病害虫の抑制に努めていきたい

参考画像



左記の 2 枚がアプロード水和剤(第 15677 号)、右記がトマトーン(第 11762 号)



4, 5バスのフィルム付近で発見されたコナジラミ。写真は 4 バスでのもの。

薬剤散布報告書【2017年11月16日(木)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年11月15日(水)	16:30~ 18:30	福田健司

薬剤散布作業の概要

殺虫

12. コナジラミ対策(3パスから発見されたため)

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
サンクリスタル乳剤 (第20316号)	殺虫	300	-	アブラムシ類、コナジラミ類	収穫前日
	殺菌		回数制限 なし	トマトザビダニ ハダニ類、うどんこ病	

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	平田	2017年11月10日(金)	—
コナジラミ・タバコガ(1パス付近)	福田	2017年11月15日(水)	三好さんに報告
薬剤散布実施	福田	2017年11月15日(水)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F			①									
E												
D												
C												
B												
A												

メモ

- 11/12(日)に実施した管理作業中にて IPM 係福田が 3 バス南側からコナジラミが発見した
- 11/15(水)の早朝時に三好さんに報告、その日のうちに薬剤散布を実施した
- 報告を早期にできるようにこれからは取り組むように注意
- コナジラミの発生の考察として区分けフィルムに付着したコナジラミに対して完全殺虫ができなかったのが原因と考えた
- また、本日(11/16(木))に別の学生からコナジラミ発見の報告を受けたので、明日(11/17(金))に薬剤散布を実施予定
- また、連続での薬剤散布となりハチをハウス内に入れることができないので、明日(11/17(金))の収穫後、トマトトーンの散布も実施する予定

参考画像



サンクリスタル乳剤(第 20316 号)



3 バス、茎頂部でのコナジラミの様子

薬剤散布報告書【2017年11月11日(土)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年11月10日(金)	16:00~ 18:00	平田拓也

薬剤散布作業の概要

殺虫

13. コナジラミ・タバコガ対策(ともに1パスから発見されたため)

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
マッチ乳剤 (第20016号)	殺虫	2000	3/4	オオタバコガ・ハスモンヨトウ・ミカンキイロアザミウマ・トマトサビダニ・コナジラミ類・ハモグリバエ類	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	平田	2017年11月2日(木)	—
コナジラミ・タバコガ(1パス付近)	平田、福田	2017年11月7日(火)	三好さんに報告
薬剤散布実施	平田	2017年11月10日(金)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F		①										
E												
D												
C												
B												
A												

メモ

- 11/7(火)に実施した薬剤散布係による病気チェックにて1パスからタバコガ・コナジラミが発見された。

薬剤散布報告書【2017年11月2日(木)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年11月2日(木)	17:00~ 18:30	平田拓也

薬剤散布作業の概要

殺虫

14. コナジラミ対策 (8,9パスの隔離シート付近で発見されたため)

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
アルバリン 顆粒水溶剤 (第20812号)	殺虫	2000	1/2	コナジラミ類	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	福田	2017年10月20日(金)	—
コナジラミ(8パス、9パス付近)	加納、福田	2017年11月2日(木)	三好さんに報告
薬剤散布実施	平田	2017年11月2日(木)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D												
C								①				
B									②			
A												

メモ

- 11/2(水)に福田からコナジラミ発生 of 報告を受け、当日中の薬剤散布が決定。

- 三好さんに報告し、薬剤を選択していただいた。
- コナジラミを私が実際に発見することはかなわなかったが、隔離シート付近が発生源とされ入念に薬剤を散布した。
- この度から薬剤散布係は「IPM: Integrated Pest Management」に改名。総合的有害生物管理 の意。響きが良い。

参考画像



↑アルパリン顆粒水溶剤(第 20812 号)

薬剤散布報告書【2017年10月23日(月)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年10月20日(金)	17:00~ 18:30	福田健司

薬剤散布作業の概要

殺虫

- 15. コナジラミ対策 (6パス、10パスの隔離シート付近で発見されたため)

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
モスピラン 水溶剤 (第19112号)	殺虫	2000	1/2	アブラムシ類、コナジラミ類 ヒラズハナアザミウマ	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	平田	2017年10月16日(月)	—
コナジラミ(6パス、10パス付近)	荒滝、小本	2017年10月18日(水)	三好さんに報告
薬剤散布実施	福田	2017年10月20日(金)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D					①					②		
C												
B												
A												

メモ

- 10/18(水)に荒滝、小本の両者からコナジラミの発見の報告を受けた。

- 三好さんに報告し、先週 2 回目の薬剤散布を実施した。
- コナジラミ発現の理由として、6 パス・10 パスに設置してある、隔離ビニルシートに対して前回までの薬剤散布が不十分であると推測した。
- 今回の薬剤散布は先述したビニルシートを中心に薬剤を撒いた。

参考画像



モスピラン 水溶剤 (第 19112 号)



コナジラミ、6 パス内の様子

薬剤散布報告書【2017年10月16日(月)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年10月16日(月)	16:00~ 17:00	平田拓也

薬剤散布作業の概要

殺虫

- 16. ハモグリバエ対策 (11~12 内で発見されたため)
- 17. ダニ対策 (11~12 パス内で発見されたため)

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
アミスター20フロアブル (第 20574 号)	殺菌	2000	1/4	葉かび類・灰色かび類	収穫前
モレスタン水和剤 (第 19723 号)	殺虫	2000	1/5	コナジラミ類・トマトサビダニ	収穫前

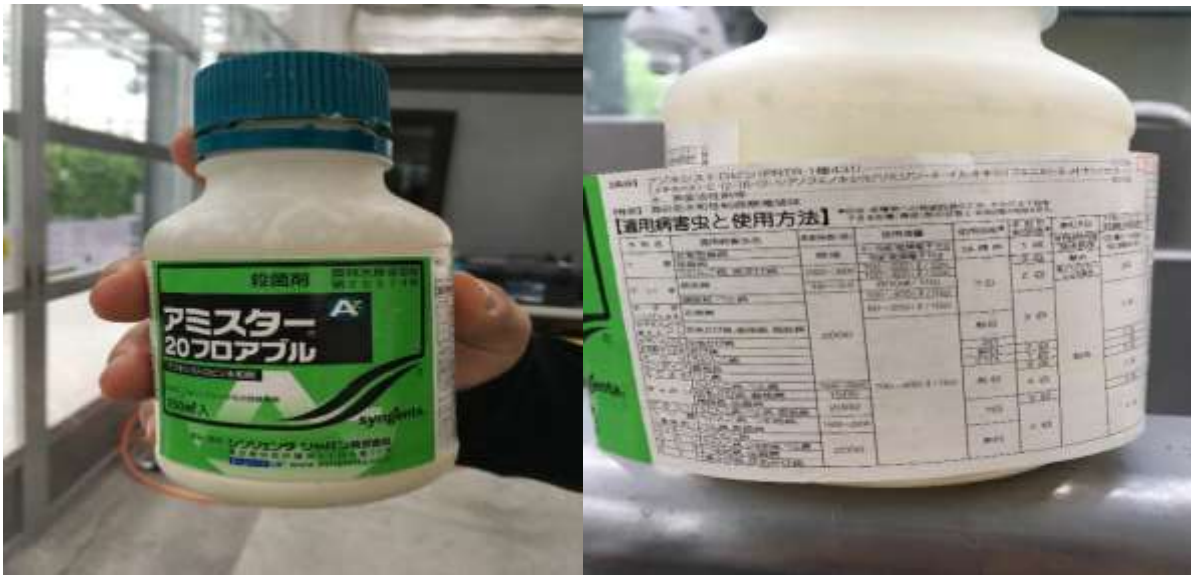
メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	福田	2017年10月11日(水)	—
ハモグリバエ、ダニ(11・12 パス南側範囲)	薬剤散布係	2017年10月16日(月)	三好さんに報告
薬剤散布実施	平田	2017年10月16日(月)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G											②	①
F												
E												
D												
C												
B												
A												

- 先週に引き続き葉散の予定であったが、一応病気チェックを行った結果やはりダニが 12 バス南側から大量発生していた。4 週連続発生達成。
- 三好さんに相談の後、ダニが発生している部分に対しては葉かきを行い改善に努めた。発見初回に思い切って葉かきすべきだったという反省に至った。
- また、5 バス中部に葉が真黄色になっている個体が発見され、三好さんに相談の後撤去命令を受けた。原因は不明。(参考画像参照)
- ところどころの個体に葉が変色している個体が発見された。カルシウム不足のものと思われていたが、病気の可能性もあり三好さんに報告した。
- おろし作業が早すぎるせいか、植物体が全体的にレーンに寄りかかり台車の走行・葉散が困難気味であった。
- 今作は異常が多いらしい。12 バス南側の外部との隙間問題・エアシャワーの落とした異物の回収問題・一回エアシャワー浴びれば出入可能問題など見直しが必要の可能性あり

参考画像



↑アミスター20 フロアブル(第 20574 号)



↑モレスタン水和剤(第 19723 号)



↑葉が黄色になっている個体

薬剤散布報告書【2017年10月11日(水)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年10月11日	15:00~17:00	福田健司

薬剤散布作業の概要

殺虫対策

1. ダニ対策 (10~12 パス内で発見されたため)
2. ハモグリバエ対策 (1 パス内で発見されたため)

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
マイトコーネ フロアブル (第 20448 号)	殺虫	1000	1 / 1	ダニ対策	収穫前日
マッチ乳剤 (第 20016 号)	殺虫	2000	2 / 4	ハモグリバエ・オオタバコガ・トマトサビダニ対策	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	平田	2017年10月2日	—
ダニ(10~12 パス内),ハモグリバエ(1-1-A)発見	福田	2017年10月10日	三好さんに報告
薬剤散布実施	宮崎	2017年10月11日	—

メモ

- ダニが3週連続発見されている。三好さんに報告し確認したところ、12パス南側付近の雑草を放置していたのが要因ではないかと推測される。
- 来週までダニの幼虫が発見されることが推測されるので、来週も薬剤散布を行う予定である。
- マイトコーネ フロアブルは1度のみ使用なので次回以降は使用できない。



マイトコーネフロアプル (第 20448 号)



マッチ乳剤 (第 20016 号)



ダニの幼虫が 10~12 パス内に発見(左画像)、ハモグリバエの幼虫食害後が 1-1-A にて発見(右画像)

薬剤散布報告書 【2017年10月2日(月)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年10月2日(月)	15:00~ 17:00	平田拓也

薬剤散布作業の概要

殺虫

- 18. コナジラミ対策（ハウス内全体で発見されたため）
- 19. ダニ対策（11,12 パス内で発見されたため）

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
サフオイル乳剤 (第 22801 号)	殺虫	300	2/2	ハダニ類、チャノホコリダニ トマトサビダニ、コナジラミ類	収穫前日

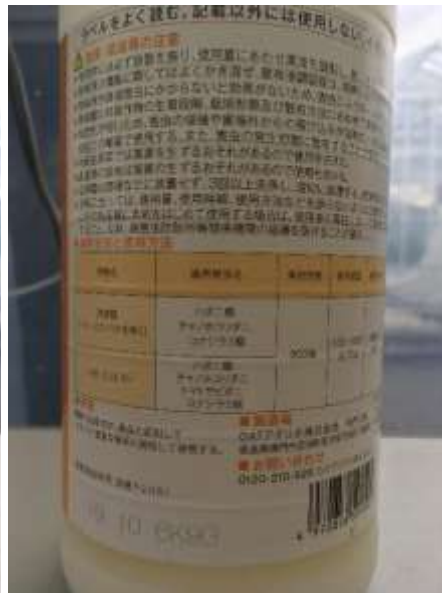
メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	福田	2017年9月28日(木)	—
コナジラミ、ダニ(11-18-A、12-12-A)	三好さん、春富	2017年10月2日(月)	三好さんに報告
薬剤散布実施	平田	2017年10月2日(月)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F											②	①
E												
D												
C												
B												
A												

- 9/29(金)に三好さんからコナジラミ発生報告を受けた。また、同日ダニの発生報告を春富から受けた。
- 10/2(月)に三好さん、福田とともに害虫確認に行き、使用薬剤を決定。
- 12 パス横の雑草(処理済)からの虫が原因の一つとして考えられたため、適所を重点的に薬剤散布を行った。
- 当方平田の葉害散布は初めてであったため、不安が残った。

参考画像



サフオイル乳剤 (第 22801 号)



コナジラミはハウス内全体に見受けられた。またダニが 11、12 パスで発見された。

薬剤散布報告書【2017年9月28日(木)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年9月28日(木)	15:00~ 16:00	福田健司

薬剤散布作業の概要

殺虫

1.オオタバコガおよびハスモンヨトウ幼虫対策 (3,11,12 パス内で幼虫が発見されたため)

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
トルネード フロアブル (第 20613 号)	殺虫	2000	1/2	オオタバコガ、ハスモンヨトウ	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	福田	2017年8月10日(木)	—
タバコガおよびハスモンヨトウ幼虫(3-14-A、11-18-A、12-12-A)	坂口、佐藤	2017年9月27日(水)	三好さんに報告
薬剤散布実施	福田	2017年9月28日(木)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G											①	
F												
E			②									
D												③
C												
B												
A												

メモ

- オオタバコガおよびハスモンヨトウの幼虫が発見され、3-14-A、11-18-A、12-12-A に虫と食害の跡が確認されたと報告があった

- 実際にどちらの幼虫なのかは判断しかねたので、三好さんに報告し、適切な薬剤を散布し処置を行った
- また本日、次期薬剤散布係で3回生の平田君に見学をしていただいた

参考画像



トルネードフロアブル (第 20613 号)



オオタバコガの幼虫が発見され、3-14-A、11-18-A、12-12-A に虫と食害の跡が確認された

薬剤散布報告書【2017年8月10日(水)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年8月10日	14:30~15:00	福田健司

薬剤散布作業の概要

殺菌

1. 防虫・防除 (次期作のため)

殺虫

1. 防虫・防除 (次期作のため)

使用した薬品情報

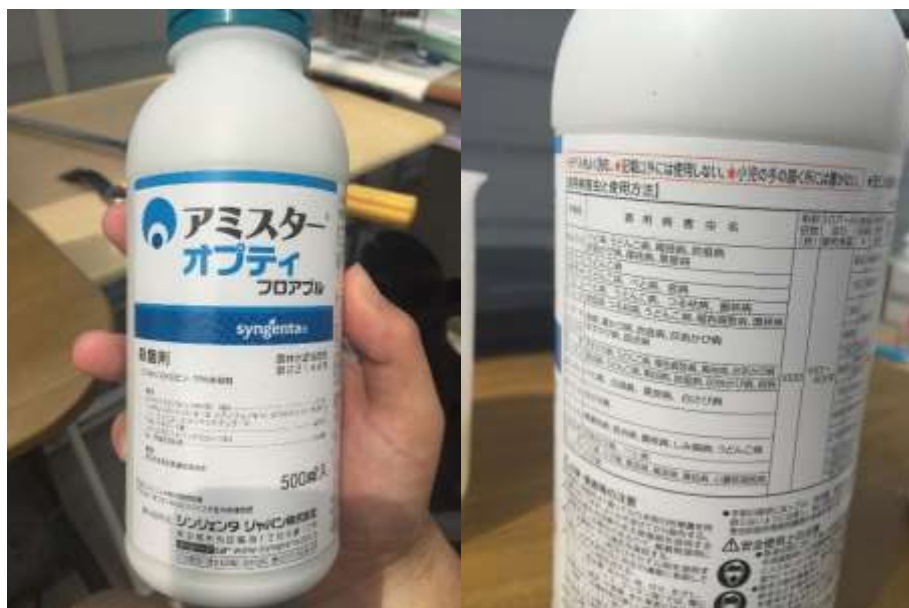
使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
アミスターオプティ フロアブル (第 22144 号)	殺菌	500	1/4	葉かび病、灰色かび病対策	収穫前日
マッチ乳剤 (第 20016 号)	殺虫	500	1/4	オオタバコガ・トマトサビダニ対策	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

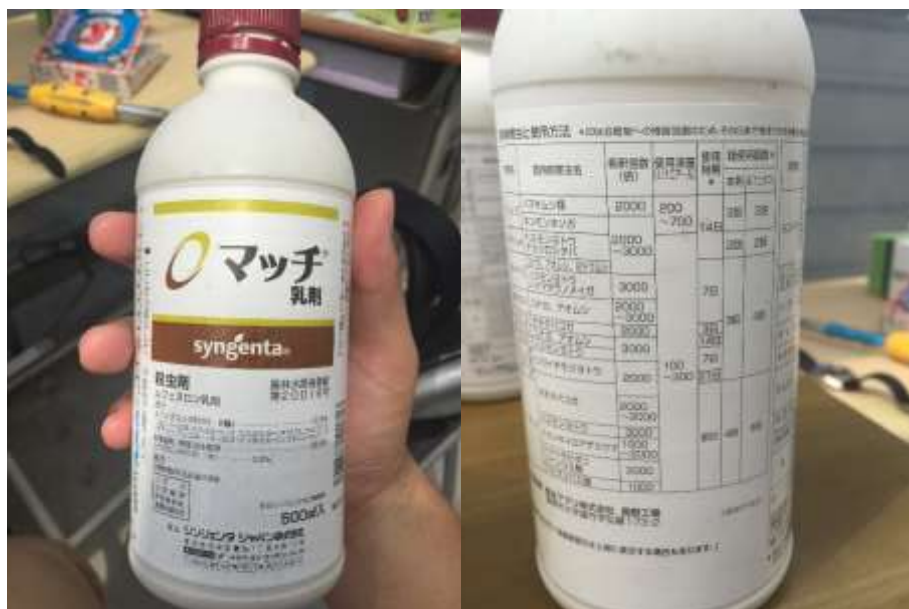
報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	宮崎	2017年3月29日	—
1. うどんこ病 (10-C,10-D,11-D)	荒瀧	2017年4月7日	三好さんに報告
2. 異常個体 (2-F,3-F)	荒瀧	2017年4月12日	三好さんに報告
薬剤散布実施	宮崎	2017年4月12日	—

メモ

- 次期作のために、薬剤散布で防虫・防除対策を行った。



アミスターオプティル フロアブル (第 22144 号)



マツチ乳剤 (第 20016 号)

薬剤散布報告書【2017年7月12日(水)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年7月12日(水)	17:00~ 17:30	福田健司

薬剤散布作業の概要

殺虫

1. オオタバコガ幼虫対策（11,12レーン内で幼虫が発見されたため）

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
アフーム乳剤 (第19842号)	殺虫	2000	4/5	マメハモグリバエ、オオタバコガ、トマトサビダニ	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	宮崎	2017年7月5日(水)	—
タバコガ幼虫(11-F, 12-G)	坂口	2017年7月12日(水)	三好さんに報告
薬剤散布実施	福田	2017年7月12日(水)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												①
F											①	
E												
D												
C												
B												
A												

メモ

- オオタバコガの幼虫が発見され、11-F, 12-G に虫と食害の跡が確認されたと報告があった

- 前回の薬散に引き続き、半レーン（7パス～12パス）のみ薬剤散布を実施した

参考画像



アファーム乳剤（第19842号）



1. オオタバコガの幼虫が発見され、11-F, 12-G に虫と食害の跡が確認されたと報告があった

薬剤散布報告書 【 2017 年 7 月 5 日(水) 】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017 年 7 月 5 日(水)	開始時間～ 終了時間	作業者名

薬剤散布作業の概要

殺虫

- 1.オオタバコガ幼虫対策 (2 バス内で幼虫が発見されたため)

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
アファーム乳剤 (第 19842 号)	殺虫	2000	3.5/5	マメハモグリバエ、オオタバコガ、トマトサビダニ	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	宮崎	2017 年 6 月 21 日(水)	—
タバコガ幼虫(2-D)	荒瀬, 佐藤	2017 年 7 月 5 日(水)	三好さんに報告
薬剤散布実施	宮崎	2017 年 7 月 5 日(水)	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D			②									
C												
B												
A												

メモ

- オオタバコガの幼虫が発見され、2-D に虫と食害の跡が確認されたと報告があった

- 半レーン（1パス～6パス）のみ薬剤散布を実施して様子を見る

参考画像



アファーム乳剤（第19842号）



オオタバコガの幼虫が発見され、2-Dに虫と食害の跡が確認された

薬剤散布報告書【2017年6月21日(水)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年6月21日	17:45~18:45	福田健司

薬剤散布作業の概要

殺虫

1. サビダニ対策 (1パス内で、サビダニの発生が生じたため)

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
アフーム乳剤 (第19842号)	殺虫	2000	3/5	マメハモグリバエ、オオタバコガ、トマトサビダニ	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	宮崎	2017年5月19日	—
サビダニ症状(1-C、1-D)	荒瀬	2017年6月21日	三好さんに報告
薬剤散布実施	福田	2017年6月21日	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D		①										
C		③										
B												
A												

メモ

- 本日、6月19日(月)の午前中のチェックの際、サビダニが発症している茎と葉が確認された

- 葉カキを実施して、病気の対策を試みたが回復は見られなかったので葉散散布を実施した。

参考画像



アファーム乳剤（第19842号）



サビダニ対策（1パスのサビダニが確認された）

薬剤散布報告書【2017年6月16日(金)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年6月16日	16:30~17:30	宮崎祐輔

薬剤散布作業の概要

殺菌

1. うどん粉病対策

殺虫

2. サビダニ対策

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
デュアルサイド水和剤 (第23163号)	殺菌	2000	1/3	サビダニ、アザミウマ類、葉かび病	収穫前日
日曹ファンベル (第23105号)	殺菌	1000	3/3	灰色かび病、すすかび病、うどん粉病、葉かび病、菌核病	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	福田	2017年5月26日	—
1. うどんこ病 (11-D)	加納	2017年6月7日	うどんこ病の葉、摘除
1. うどんこ病 (12-G)	宮崎	2017年6月14日	うどんこ病の葉、摘除
2. サビダニ (4-G)	荒瀬	2017年6月14日	三好さんに報告
薬剤散布実施	宮崎	2017年6月16日	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G				②								①
F												
E												
D											①	
C												
B												
A												

- 日曹ファンベルの使用上限を満たしたため、今作の使用は不可
- 後日、サビダニに葉散が効いたか確認するため、葉散実施の前後にはルーペでサビダニの生死を確認する必要がある
- サビダニの被害が拡大しているかを確認するポイントには
 周辺の葉、複数枚にサビダニの症状が確認される
 サビダニ個体の周辺の個体にも症状が確認される
 サビダニ個体の葉だけでなく茎にも症状が確認される などがある

参考画像



デュアルサイド水和剤 (第 23163 号)



日曹ファンベル (第 23105 号)



1. うどんこ病 (11-D)



2. サビダニ (4-G)

薬剤散布報告書 【2017年5月26日(金)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年5月26日	15:30~17:00	福田健司

薬剤散布作業の概要

殺菌

- うどん粉病対策（2パスの手前でうどん粉病が確認されたため）

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
ダコール 1000 (第 16824 号)	殺菌	1000	1 / 4	灰色カビ病、菌核病、葉かび病、すすかび病、うどんこ病	収穫前日
アブローチ BI (第 15763 号)	展着	1000	-		収穫前日まで

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	宮崎	2017年4月21日	—
1. うどんこ病 (2-B)	福田	2017年5月26日	三好さんに報告
薬剤散布実施	福田	2017年5月26日	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D												
C												
B		①										
A												

メモ

- 本日、5月26日(金)の午前中の病気チェックの際、うどん粉病が確認された
- 今回、4回生である福田が初めて薬剤散布を実施した。

参考画像



ダコニール 1000
(第 16824 号)



うどん粉病対策 (2バスのうどん粉病が確認された)

薬剤散布報告書【2017年4月12日(水)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年4月12日	15:30~16:30	宮崎祐輔

薬剤散布作業の概要

殺菌

- うどん粉病対策（10,11パス真ん中でうどん粉病が確認されたため）
- うどんこ病以外の病気を警戒してベルコート水和剤を追加（2,3パスの南側に全体的に黄緑色の個体が確認された）

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
バンチョTF (第21117号)	殺菌	2000	2/2	うどん粉病	収穫前日
ベルコート水和剤 (第18821号)	殺菌	3000	1/3	葉かび病、灰色かび病	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	宮崎	2017年3月29日	—
1. うどんこ病 (10-C,10-D,11-D)	荒瀧	2017年4月7日	三好さんに報告
2. 異常個体 (2-F,3-F)	荒瀧	2017年4月12日	三好さんに報告
薬剤散布実施	宮崎	2017年4月12日	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F		②	②									
E												
D												
C										①	①	①
B												
A												

メモ

- うどん粉病が確認された
- 4/8（土）に薬剤散布を行う予定であったが、雨天のため延期
- うどんこ病以外の病気を警戒してベルコート水和剤を追加（2、3バスの南側に全体的に黄緑色の個体が確認された）
- 農作物病害虫等防護指針（平成 26 年）より、パンチョ TF & ベルコート水和剤の併用による薬害がないことを確認した
- パンチョ TF の使用上限を満たしたため、今作の使用は不可
- 本日、晴天のため 14 時からの薬散の実施を検討したが、気温が高すぎた（28.9℃）ため薬害を考慮して断念（予定通り 15 時から実施（気温 26.4℃））
- 本日、晴天のため薬剤の乾きが速く、視界が良好で作業しやすかった

参考画像



パンチョ TF（第 21117 号）



ベルコート水和剤（第 18821 号）



1.うどん粉病 (10-C,10-D,11-D)



2.異常個体 (2-F,3-F)

項目	内容	備考
1. 施設内環境	施設内の温度、湿度、換気量を適切に管理する。	
2. 育苗	育苗期間中は、適切な温度・湿度を維持し、病害発生を予防する。	
3. 定植	定植前には、土壌消毒を行い、病害菌の増殖を抑制する。	
4. 生育管理	適切な施肥・灌水を行い、植物の健康を維持する。	
5. 病害発生時の対応	病害発生時には、適切な薬剤を施用し、被害の拡大を防止する。	
6. 収穫・出荷	収穫時には、適切な衛生管理を行い、病害の伝播を防止する。	
7. 施設内清掃	施設内を定期的に清掃し、病害菌の増殖を抑制する。	
8. 防虫ネットの設置	施設内に防虫ネットを設置し、害虫の侵入を防止する。	
9. 防虫剤の施用	必要に応じて、防虫剤を施用し、害虫の発生を抑制する。	
10. 薬剤の併用	パンチョ TF & ベルクート水和剤の併用による葉害がないことを確認する。	

農作物病害虫等防護指針（平成 26 年）より、パンチョ TF & ベルクート水和剤の併用による葉害がないことを確認

薬剤散布報告書【2017年3月29日(水)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年3月29日	15:30~16:30	宮崎祐輔

薬剤散布作業の概要

殺菌

灰色かび病対策（7レーン北側で灰色かび病が確認されたため）

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
日曹ファンベル (第23105号)	殺菌	1000	2/3	灰色かび病、すすかび病、うどん粉病、葉かび病、菌核病	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	宮崎	3/11	—
1. 灰色かび病（7パス北奥）	荒瀬	3/24	三好さんに報告
薬剤散布実施	宮崎	3/29	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D												
C												
B												
A							①					

メモ

・灰色かび病が確認された



日曹ファンベル (第 23105 号)



1. 灰色かび病 (7-A)

薬剤散布報告書【2017年3月11日(土)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年3月11日	15:30~16:30	宮崎祐輔

薬剤散布作業の概要

殺虫

TYLCV 対策（1レーン南側でコナジラミが確認されたため）

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
コルト顆粒水和剤 (第22798号)	殺虫	4000	1/3	コナジラミ類、アブラムシ類	収穫前日まで

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	宮崎	2/10	—
1.TYLCV (6パス北側)	荒瀬	3/10	三好さんに報告
薬剤散布実施	宮崎	3/11	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D												
C												
B												
A						①						

メモ

・TYLCV (トマト黄化葉巻病) が発見されたため殺虫剤の散布を行った



コルト顆粒水和剤 (第 22798 号)

薬剤散布報告書 【2017年2月10日(金)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年2月10日	15:30~16:30	宮崎祐輔

薬剤散布作業の概要

殺虫

コナジラミ対策（1レーン南側でコナジラミが確認されたため）

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
ベストガード水溶剤 (第21117号)	殺虫	2000	2/3	コナジラミ類、アブラムシ類	収穫前日まで
アプローチ BI (第15763号)	展着	1000	-		収穫前日まで

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	宮崎	2/3	—
1.コナジラミ (1パス南奥)	宮崎	2/9	三好さんに報告
薬剤散布実施	宮崎	2/10	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F	①											
E												
D												
C												
B												
A												

メモ

- ・先週の薬散から1週間しか経っていないが、コナジラミが発見されたため殺虫剤の散布を行った
- ・展着剤を使用した

参考画像



ベストガード水溶剤 (第 19102 号)



アプローチ BI (第 15763 号)



1.コナジラミ (1-F)

薬剤散布報告書 【2017年2月3日(金)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2017年2月3日	15:30~16:30	宮崎祐輔

薬剤散布作業の概要

殺虫

コナジラミ類、アブラムシ類対策（7レーン中心付近で、虫食い被害の報告有り）

殺菌

病気（葉かび病、灰色かび病、うどんこ病）予防

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
サンヨール (第 9625 号)	殺虫 殺菌	500	1/4	葉かび病、灰色かび病、うどんこ病 コナジラミ類、アブラムシ類、ハダニ類	収穫前日まで
アプローチ BI (第 15763 号)	展着	1000	-		収穫前日まで

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

報告内容	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	宮崎	12/31	—
1.虫食いの跡（7-D）	稲葉	1/26	三好さんに報告
薬剤散布実施	宮崎	2/3	—

レーン	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
G												
F												
E												
D							①					
C												
B												
A												

- ・虫食いの葉が発見されたため、殺虫剤の散布を行った
- ・展着剤を使用した（展着剤を使用することで、薬剤の粒子をより細かくし、植物葉面のクチクラワックス層や害虫の気門にしみこませることができる。その結果病原菌あるいは害虫に対する薬剤の到達及び浸透も増強され効果が上がる。）参考サイト：<http://www.greenjapan.co.jp/approach.htm>

参考画像



サンヨール (第 9625 号)



アプローチ BI (第 15763 号)



1.虫食いの跡 (7-D)

薬剤散布報告書【2016年12月3日(土)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2016年12月31日	14:30~16:00	宮崎祐輔

薬剤散布作業の概要

殺虫

- ・ヨトウムシ対策（虫食い被害およびヨトウムシの発見が報告された）
- ・コナジラミ対策（コナジラミの確認・報告はなかったが、予防のため散布を行った）

殺菌

- ・うどん粉対策（発生数は少ないが、全体に分布）

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
アファーム乳剤 (第19842号)	殺虫	2000	2/5	マメハモグリバエ、オオタバコガ、トマトサビダニ	収穫前日
ベストガード水溶剤 (第21117号)	殺虫	2000	1/3	コナジラミ類、アブラムシ類	収穫前日
アフェットフロアブル (第22209号)	殺菌	2000	2/3	灰色カビ病、菌核病、葉かび病、すすかび病、うどんこ病	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

問題	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	宮崎	12/9	—
1. うどん粉（全体）	宮崎	12/30	三好さんに報告
2. 虫食い被害	戸田	12/30	三好さんに報告
3. ハモグリバエによる食害跡	荒瀧	12/30	三好さんに報告
4. ヨトウムシの発見（D-2）	伊東	12/30	三好さんに報告
薬剤散布実施	宮崎	12/31	—

メモ

- ・虫食いおよびヨトウムシの発生が報告されたため、殺虫剤の散布を行った
- ・ついでに、うどん粉およびコナジラミ対策も行った

連絡事項

- ・生体計測、栽培管理、その他、植物工場内で異変に気づいたら、LINE 等で画像と共に報告をお願いします
- ・あとで見返す時のために、報告の際は異変があった個体の区域も明記するようにしてください（例、D-2 でヨトウムシを発見しました）

参考画像



ベストガード水溶剤（第 19102 号）



アファーム乳剤（第19842号）



使用対象と使用方法

使用対象	使用濃度	使用回数	使用回数(1週間)	使用回数(1ヶ月)	使用回数(1年)
床	2000				
床	1000-2000	0.5-100%	100%	100%	100%
壁	2000				
壁	1000-2000	0.5-100%	100%	100%	100%
天井	2000				
天井	1000-2000	0.5-100%	100%	100%	100%
窓	2000				
窓	1000-2000	0.5-100%	100%	100%	100%
扉	2000				
扉	1000-2000	0.5-100%	100%	100%	100%
手すり	2000				
手すり	1000-2000	0.5-100%	100%	100%	100%
ドアノブ	2000				
ドアノブ	1000-2000	0.5-100%	100%	100%	100%
エレベーター	2000				
エレベーター	1000-2000	0.5-100%	100%	100%	100%
エレベーター	2000				
エレベーター	1000-2000	0.5-100%	100%	100%	100%
エレベーター	2000				
エレベーター	1000-2000	0.5-100%	100%	100%	100%

アフェットフロアブル (第 22209 号)

薬剤散布報告書【2016年12月9日(金)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2016年12月9日	15:00~16:30	宮崎祐輔

薬剤散布作業の概要

- ・うどん粉対策（前回の薬剤散布 2016/11/11（金）から約1ヶ月が経ち、うどん粉の個体が増え始めた）
- ・前回の殺虫剤（ハモグリバエ対策）の散布以降、ハモグリバエは確認されていない
- ・サビダニの確認・報告もなかったため、今回は殺菌剤のみの散布を行った

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
パンチョ TF (第21117号)	殺菌	2000	1/2	うどん粉病	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

問題	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	宮崎	11/11	—
5. うどん粉 (A-2)	宮崎	12/5	様子見
6. うどん粉 (全体)	宮崎	12/8	三好さんに報告
薬剤散布実施	宮崎	12/9	—

メモ

- ・うどん粉の個体は少ないが、全体に分布していたため、散布を決定した
- ・前日の葉かき後、全葉数が10~12枚程度であったため、作業が行いやすかった

連絡事項

- ・植物体のチェックは、毎週金曜日の13:00~
- ・生体計測、栽培管理、その他、植物工場内で異常に気づいたら、LINE等で画像と共に報告をお願いします
- ・上記の2点について、金曜日ゼミ終了後に全体に連絡する



パンチョTF (第 21117 号)

薬剤散布報告書【2016年11月1日(金)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2016年11月11日	15:00~17:00	宮崎祐輔

薬剤散布作業の概要

- ・ハモグリバエ対策
- ・うどん粉対策（前回の薬剤散布 2016/11/2（水）では治まらなかった）

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病害虫名	使用可能時期 (残留回避のため)
日曹ファンベル (第 23105 号)	殺菌	1000	1/3	灰色かび病、すすかび病、うどん粉病、葉かび病、菌核病	収穫前日
アフーム乳剤 (第 19842 号)	殺虫	2000	1/5	マメハモグリバエ、オオタバコガ、トマトサビダニ	収穫前日

メモ病害虫発見および異常報告の履歴

問題	報告者	日付	対処
薬剤散布実施	宮崎	11/2	—
7. うどん粉（全体）	荒瀧、稲葉、玉井、戸田、伊東	11/10	薬剤散布
8. ハモグリバエ（A-6）	稲葉	11/10	三好さんに報告
薬剤散布実施	宮崎	11/11	—

メモ

- ・今回、薬剤散布ベースが遅く 200L に 20L プラスして噴霧した

連絡事項

- ・報告書を幹部全体でシェアする



日曹ファンベル (第 23105 号)



アファーム乳剤（第 19842 号）



2.ハモグリバエ（A-6）

薬剤散布報告書【2016年11月2日(水)】

プロジェクト サマリー

作業日	作業時間	作業者
2016年11月2日	15:00~17:00	宮崎祐輔

薬剤散布作業の概要

- ・薬剤散布に関する注意点について説明
- ・使用する薬品の希釈
- ・三好さんによる薬剤散布作業のレクチャー

使用した薬品情報

使用した薬品名 (農林水産省登録第○号)	使用 目的	希釈倍数 (倍)	使用回数 /総使用回数	適用病虫害名	使用可能時期 (残留回避のため)
アフットフロアブル (第 22209 号)	殺菌	2000	1/3	灰色カビ病、菌核病、葉かび病、すすかび病、うどんこ病	収穫前日
ルフェヌロン乳剤 (第 20016 号)	殺虫	2000	1/4	オオタバコガ、ハスモンヨトウ、ミカンキイロアザミウマ、トマトサビダニ、コナジラミ類、ハモグリバエ類	収穫前日

メモ病虫害発見および異常報告の履歴

問題	報告者	日付	対処
9. うどん粉 (7レーン)	荒瀧	10/25	薬剤散布
10. 虫食い (A-3)	戸田	10/27	薬剤散布
11. 葉先が黄色 (A-7)	戸田	11/1	三好さんに報告 (未)
12. 茎頂付近の葉が枯れる (D-4)	宮崎	11/2	茎頂は生きているので様子見
13. 虫食い (D-4)	宮崎	11/2	
薬剤散布実施	宮崎	11/2	—
14. 黄色い斑点 (A-6)	荒瀧	11/4	三好さんに報告 (未)

メモ

- ・柱の裏側、レーンの奥などは、薬剤がかかりにくいので、特に注意して噴霧すること
- ・ホースが絡まり作業効率が低下するのを防ぐため、レーン間の移動は、レーン手前の柱で滑らせること
- ・2000 倍希釈⇒200Lの水に対して、薬剤 100mL
- ・気化した薬品の吸引を防ぐため、薬剤散布後一晩は植物工場内に入らないこと
- ・薬害防止のため、農作物病虫害等防護指針 (平成 26 年) トマト農薬混用事例を確認してから薬剤を使用すること

- ・気温が低すぎると薬品がその日のうちに乾かず、カビの病気が出やすくなる場合がある
- ・夏期の日中高温時は薬害が発生しやすいので散布は避け、朝夕の涼しいときに行う

連絡事項

- ・薬剤散布後、作業が行えないため、前もってグーグルカレンダーに予定を記入しておくこと
- ・薬剤散布マニュアルを作成すること

参考画像



農作物病害虫等防護指針（平成 26 年）



ルフェスロン乳剤 (第 20016 号)



1.うどん粉 (7レーン)



2.虫食い (A-3)



3.葉先が黄色 (A-7)



4. 茎頂付近の葉が枯れる (D-4)



5. 虫食い (D-4)



6. 黄色い斑点 (A-6)